

第115期 事業のご報告

株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日

株式会社 椿本チエイン

証券コード | 6371

「中期経営計画2025」で掲げた目標を見据え、持続可能な成長に向けた取り組みを加速させます。

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年度の連結業績について

2024年度の連結業績は、売上高2,791億円、営業利益228億円(営業利益率8.2%)となりました。

米国経済が良好な雇用・所得環境を背景に高成長を維持したほか、欧州経済もインフレ圧力の緩和を受け緩やかながらも回復基調となったこと、日本経済が底堅く推移したこと等により、当社業績についても前期比4.6%の増収、営業利益についても7.5%の増益となり、売上高・営業利益ともに過去最高額を更新しました。しかしながら、円安の継続によるコスト上昇圧力の高まり等により、営業利益率は8.2%と前期比0.2ポイントの改善にとどまりました。

は中東地域における地政学的リスクの高止まりなどの影響を受け、依然として先行き不透明な状況が続くと見込まれます。このような状況のもと、当社グループは引き続き「長期ビジョン2030」に掲げた「2030年のありたい姿」の実現に向け、2021年度よりスタートさせた「中期経営計画2025」の課題を完遂するとともに、資本コストを意識した各種施策の展開と経営管理の強化に注力してまいります。また、今後も社会課題の解決に貢献する企業グループとして、カーボンニュートラル実現を含むサステナビリティ活動のさらなる推進に取り組んでまいります。

2025年6月

2025年度の通期連結業績予想について

2025年度の通期連結業績予想については、事業環境や足元の受注状況を鑑み、下表のとおりといたしました。

2025年度 通期連結業績予想

売上高	2,900億円	(前期比 +3.9%)
営業利益	215億円	(同 △5.9%)
経常利益	230億円	(同 △9.2%)
親会社株主に帰属する当期純利益	200億円	(同 △9.6%)

世界および日本経済は、米国を発端とする貿易摩擦、欧州および中国経済の本格回復の遅れ、さらに

代表取締役会長
兼 CEO
古世 憲二

代表取締役社長
兼 COO
木村 隆利



※CEO : Chief Executive Officer (最高経営責任者)
COO : Chief Operations Officer (最高執行責任者)

つばきグループ海外展開の第一歩の地・台湾、 韓国の事業展開を支える子会社をご紹介します！

つばきグループは1970年代以降、グローバル展開を推進してまいりましたが、台湾はその第一歩として最初に進出した地域です。現在もパワートランスミッション製品の製造・販売を軸に事業展開を進める台湾椿本股份有限公司（以下、TTC）と、韓国における自動車部品の製造・販売事業を展開、顧客から高い信頼を獲得しているTsubakimoto Automotive Korea Co., Ltd.（以下、TAK）の2社をご紹介します。



台湾椿本股份有限公司

トップメッセージ

TTCは、今年創立55周年を迎えました。1960年代半ば以降、つばきグループは急速に拡大した海外販売への対応として、海外拠点の構築を積極的に進めてまいりました。その第一歩として、当時、急速な工業化が進み、機械の動力を伝えるローラチェーンの需要が高まっていた台湾において、グループ初の海外合弁会社であり、現在のTTCの前身となる「大椿鏈條股份有限公司」を1970年に設立しました。（その後、1983年に合弁相手から株式を取得し、現在の体制を確立。）

私たちの主力製品である動力伝動用チェーンは、創業以来、長年にわたって磨き続けてきた技術の結晶です。当社はその部品を、世界各地にあるつばきグループの製造拠点へ供給し、チェーン事業におけるグローバルな供給体制を支えています。

現在は、「中期経営計画2025」の達成に向け、モノづくり企業としての基本であるQCD（品質・コスト・納期）のさらなる向上に取り組んでいます。全従業員が一丸となり、常に顧客視点を持って改革活動を推進しています。今後も、私たちの強みを生かしながら事業の拡大を図り、お客様のさらなる発展に貢献してまいります。



董事長兼總經理
玉木 政治

TTCの
ここが
自慢です！



紹介者 管理部経理
簡泳澈

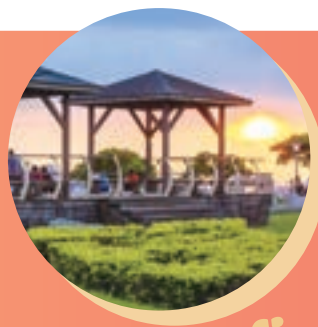
TTCの従業員が最も楽しみにしているイベントは、社員旅行と親睦会です。従業員だけではなく、日頃より従業員を支えてくれているご家族へ感謝の気持ちを込めて、福利厚生の一環として年3回開催しており、家族とともに参加できるイベントとして大変好評を得ています。また、毎月、誕生日を迎える従業員に対しては、バースデーケーキやギフトを贈呈し、全従業員にはアフタヌーンティーを提供しています。これらの取り組みも、従業員が楽しみにしている恒例行事の一つです。これらの活動を通じて、従業員同士の親睦を深めるとともに、モチベーション向上を図り、働きやすい職場環境の醸成に努めています。



ちょっと寄り道



TTCから車で10分足らずの場所に位置する「虎頭山環境保護公園」は、かつて桃園市のごみ埋立地として使用されていましたが、その後再生が進められ、現在では市民にとって貴重なレクリエーションスポットとなっています。同公園は、夕刻には美しい夕日、夜には都市の夜景を一望できる絶好のロケーションとして、多くの来園者に親しまれています。また、公園周辺には、台湾で最も良好な状態で保存されている日本式神社「桃園忠烈祠」や「神社文化園區」があり、自然と歴史・文化の両面を楽しめる地域となっています。お近くにお越しの際は、ぜひ一度お立ち寄りください。





TAK

Tsubakimoto Automotive Korea Co., Ltd.



TTC

台湾樺本股份有限公司



Tsubakimoto Automotive Korea Co., Ltd.

トップメッセージ

TAKは2009年に設立され、昨年、15周年を迎えました。設立の背景には、現在の主要顧客である韓国自動車メーカーの新型エンジン開発プロジェクトへの参画があります。当時、「積極的な投資が大きなビジネスチャンスに繋がる」と確信し、地産地消の観点から韓国に工場を建設しました。

事業開始当初は、タイミングチェーンシステムサプライヤーとして、韓国国内においてシェア3位からのスタートでしたが、顧客に密着した営業活動と高品質な製品づくりが高く評価され、現在では韓国国内におけるトップシェアを確立するまでに成長しています。

現在、私たちは「中期経営計画2025」で掲げた目標に基づき、内燃機関向け製品であるタイミングチェーンシステムのさらなるシェア拡大に加え、新たなモビリティ関連ビジネスの獲得を目指しています。今後も全社員が一丸となって課題解決に取り組み、目標達成に向けて邁進してまいります。

代表理事

魚谷 憲一



TAKの
ここが
自慢です！



紹介者

Director of Manufacturing Division
HAN KANG SEOP

TAKでは近年、ワークライフバランスの向上を目的として、各種社内規定の見直しを進めています。具体的には、リフレッシュ休暇の導入、産前産後休暇の延長および時短勤務制度の整備、さらには誕生日や結婚記念日に取得できる特別休暇の付与など、従業員が自身の時間を大切にできる制度の充実を図ってきました。今後も、人を大切にする企業文化の醸成を継続するとともに、従業員が最大限のパフォーマンスを発揮できる職場環境づくりを推進することで、従業員エンゲージメントのさらなる向上を目指していきます。



TAKは、桜の名所として知られる昌原市鎮海(チネ)区に位置しています。毎年春には、町全体が満開の桜に包まれ、絵画のように美しい景観が広がります。特に「鎮海軍港祭り」の開催時期には、全国各地から多くの観光客が訪れ、華やかな雰囲気になります。鎮海は海にも近く、豊かな自然景観を有する観光名所が数多く点在しており、ゆったりとした時間を過ごせるエリアとしても知られています。また、新鮮な海の幸を活かした海鮮料理も名物の一つであり、地域の魅力の一つとなっています。お近くにお越しの際は、ぜひその魅力をご体感ください。



チェーン事業

産業用スチールチェーンは世界シェアNo.1

モノが動くところに「チェーン」あり。国内外の様々な産業向けに、世界シェアNo.1の産業用スチールチェーンをはじめとした約2万種類のラインアップから生産性向上、省エネ、環境改善に繋がる最適なチェーンを最高の品質でお届けしています。

【主要商品】

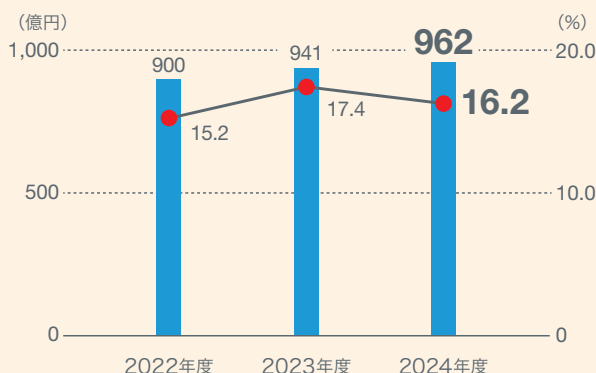
ドライブチェーン、コンベヤチェーン、スプロケット、ケーブル・ホース支持案内装置など

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比^{*1}

33.8%

売上高^{*2}/営業利益率



モーションコントロール事業

減速機、直線作動機などの豊富な商品群

「Motion & Control」の分野で、独自の複合化技術と豊富な品揃えを生かし、産業機械の複雑な動きを精密にコントロールするモーションコントロール商品群。舞台の昇降装置や立体駐車場、アーケードの屋根開閉、風力発電や駅ホームの可動柵など、様々な「動かす」ニーズに的確にお応えしています。

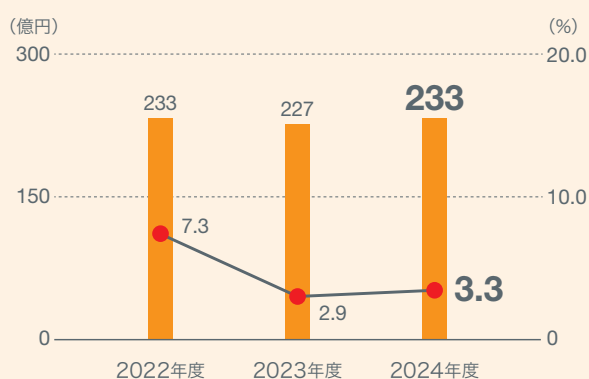
【主要商品】

減速機、直線作動機、軸継手、締結具、クラッチ、電気式制御機器など

セグメント別売上高構成比^{*1}

8.2%

売上高^{*2}/営業利益率



2024年度の概況

チェーンにつきましては、日本、中国において販売が増加したことや、円安の影響などにより、前期比で増収となりました。モーションコントロールにつきましては、日本、米州、韓国・台湾において販売が増加したことなどにより、前期比で増収となりました。

専務執行役員
パワトラ事業統括
永井 康詞



モビリティ事業

エンジンの高性能化を支える タイミングチェーンシステム

自動車エンジンの高性能化、エコ化に寄与するタイミングチェーンシステムは、国内68%、世界40%とトップシェア。その技術と品質は、世界の自動車メーカーから高い信頼を獲得しています。また、EVやe-Bikeなど次世代モビリティの分野でも、エネルギーロス・CO₂排出量削減への貢献を目指しています。

【主要商品】

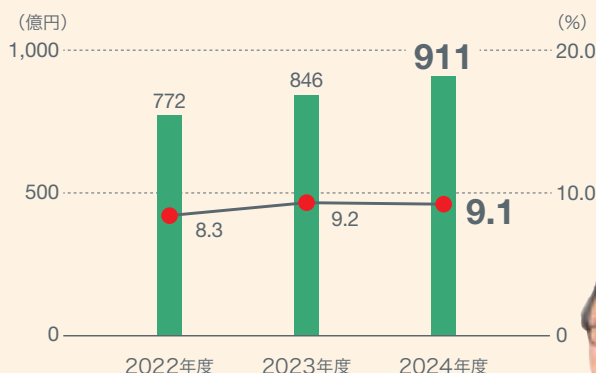
タイミングチェーン、テンショナ、ガイド、レバー、スプロケット、トランスファーケース用チェーン、車載用クラッチなど

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比*1

32.7%

売上高*2/営業利益率



2024年度の概況

日本、米州、欧州、韓国などの拠点において自動車エンジン用タイミングチェーンシステムなどの販売が増加したことなどにより、前期比で増収となりました。



常務執行役員
モビリティ事業統括
佐藤 功

マテハン事業

生産性向上に寄与する ソリューションを提供

物流センターにおける自動仕分け装置は、国内シェア70%超。超低温自動保管庫「つばきラボストック®」は、創薬やDNAなどの研究に寄与しています。その他、自動車塗装ライン搬送設備や粉粒体搬送コンベヤなど、お客様の生産性向上、環境負荷低減に寄与するソリューションを提供しています。

【主要商品】

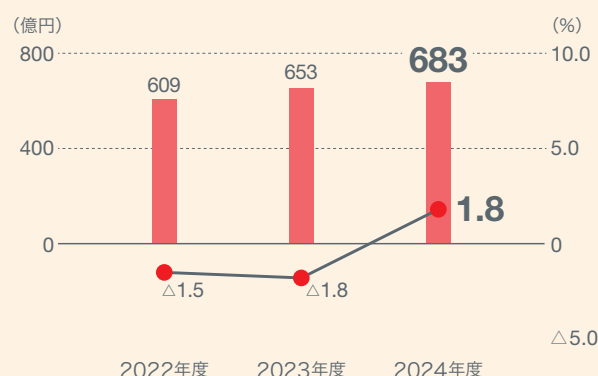
物流業界向けシステム、自動車業界向けシステム、ライフサイエンス分野向けシステム、粉粒体搬送コンベヤなど

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比*1

24.4%

売上高*2/営業利益率



2024年度の概況

米州における金属切屑搬送・クーラント処理装置や自動車業界向けシステム、日本における物流業界向けや自動車業界向けシステムの販売が増加したことなどにより、前期比で増収となりました。

常務執行役員
マテハン事業統括
岡本 雅文

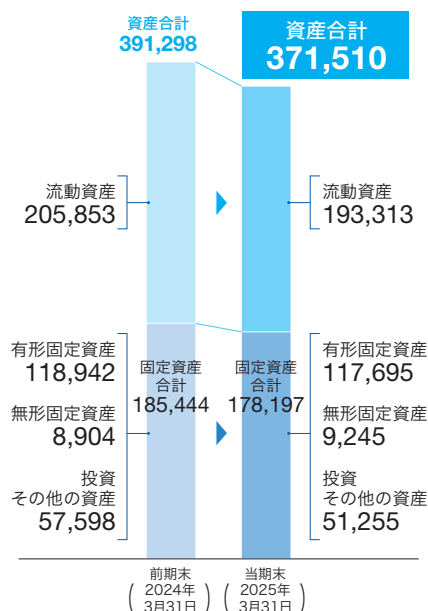


*1 セグメント別売上高構成比は「外部顧客に対する売上高」を基準に算出しています。
*2 売上高には「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

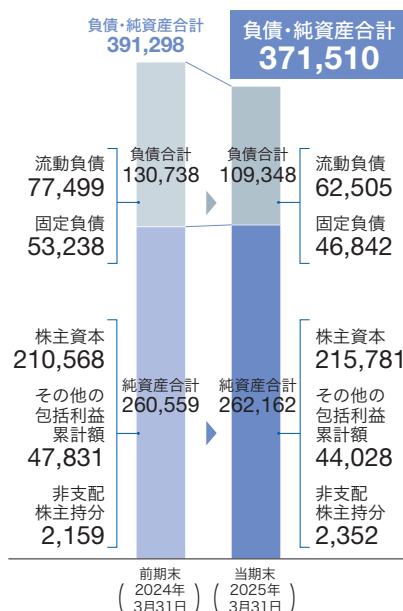
連結貸借対照表の概要

(百万円)

資産の部



負債及び純資産の部



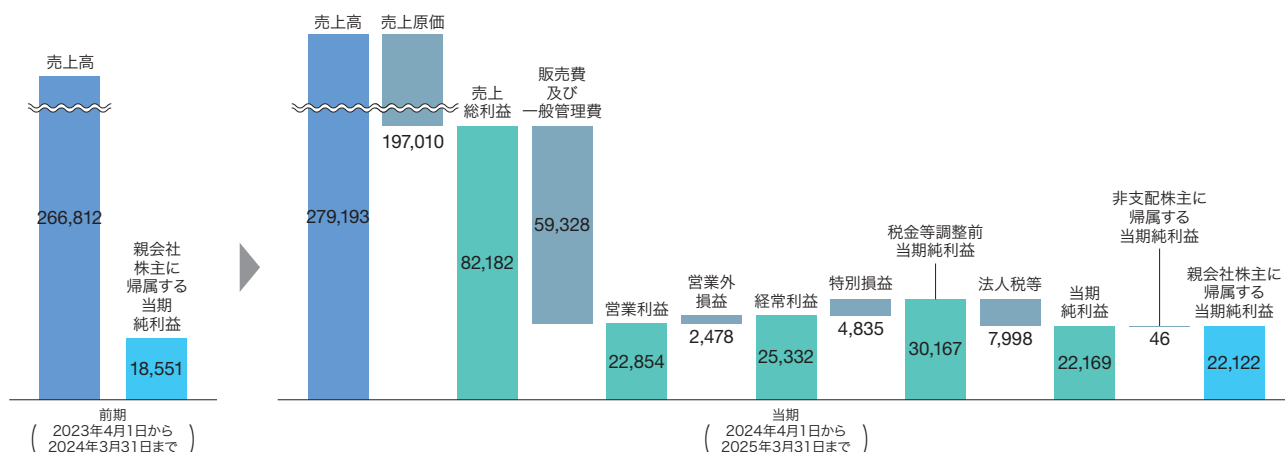
さらに詳しい財務データは、
当社ホームページの
「IRライブラリ」をご覧ください。

ツバキモト IR 検索

<https://www.tsubakimoto.jp/ir/library/>

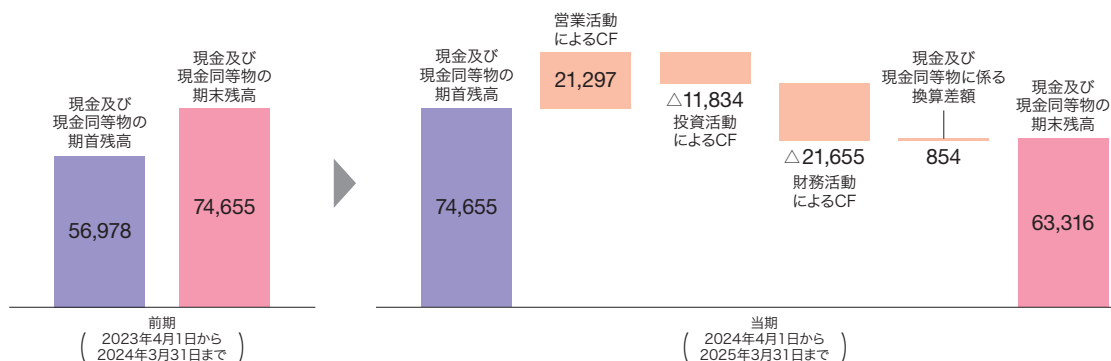

連結損益計算書の概要

(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



株主優待制度「椿本チエイン・プレミアム優待倶楽部」を拡充しました

2021年4月に導入した「椿本チエイン・プレミアム優待倶楽部」ですが、株価上昇により導入時に設定した優待利回りが低下したこと、株式分割により個人株主様の増加が見込まれることなどから、今年度分より制度の見直しを実施、拡充しました。

見直しの概要：①保有単元ごとの付与ポイント数の変更、②優待対象となる株主様の拡大、③最大付与ポイントの引き上げ

今年度分の交換は9月末まで（1回のみ繰り越し可能）となりますので、交換をお忘れなきようご注意ください。

（詳細は、WEBサイト「椿本チエイン・プレミアム優待倶楽部」をご覧ください）

株主優待 新ポイント表（1ポイント≒1円）

保有株式数	進呈ポイント
500株～599株	5,000 ポイント
600株～699株	6,000 ポイント
700株～799株	7,000 ポイント
800株～899株	8,000 ポイント
900株～999株	9,000 ポイント
1,000株～1,999株	20,000 ポイント
2,000株～2,999株	30,000 ポイント
3,000株以上	40,000 ポイント

（注）長期保有ポイントは廃止いたします。

進呈条件

2025年以降、毎年3月末日の株主名簿に記載又は記録された5単元（500株）以上保有の株主様を対象いたします。

繰越条件

翌年3月末日において株主名簿に同一株主番号で連続して5単元（500株）以上保有する株主様として記載された場合にのみ繰越せます（1回のみ）。3月末日の権利確定日までに株主番号が変更された場合、ポイントは失効いたします。

ご参考：株主優待制度の新旧対照表

株式分割前		株式分割後		進呈ポイント増減
保有株式数	進呈ポイント	保有株式数	進呈ポイント	
200株	0ポイント	600株	6,000ポイント	+6,000ポイント
300株	5,000ポイント	900株	9,000ポイント	+4,000ポイント
1,000株	20,000ポイント	3,000株	40,000ポイント	+20,000ポイント

「椿本チエイン・プレミアム優待倶楽部」に関するご質問・お問い合わせ ▶

椿本チエイン・プレミアム優待倶楽部 ヘルプデスク

TEL 0120-302-716

受付時間 午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く）



つばきのサステナビリティ

本社・大阪支社で「障害平等研修(DET)」を実施 共生社会への理解を深める

障がいの有無にかかわらず全社員が働きやすい職場づくりを目指し、本社・大阪支社で「障害平等研修(DET)」を実施し、20名が参加しました。

「NPO法人 障害平等研修フォーラム」の石川明代理事を講師に迎え、参加者は映像を通じて「障害」が個人ではなく社会や環境によって生じる側面があることを学びました。研修の終盤では、「人にやさしい企業」を目指し、各自が取るべき具体的な行動を発表。参加者からは、「障害は社会との相互作用で解消・軽減できる」「配慮だけでなく社会の仕組みでの対応が重要」といった気づきが寄せられました。

今後も、「人にやさしい職場づくり」を通じて、「人にやさしい社会の実現」に向けた取り組みを継続していきます。



「障害」の定義について自身の考えを発表する受講生

会社概要

商 号 株式会社椿本チエイン
本店所在地 大阪府北区中之島3丁目3番3号
設立年月日 1941年(昭和16年)1月31日
資本金 17,076百万円
工場 京田辺、埼玉、長岡京、兵庫、岡山
支店 東京、名古屋、大阪、DX・IT池袋ベース
営業所 大宮、豊田、大阪北、広島、九州
関係会社 連結子会社：68社 非連結子会社：10社
関連会社：8社(うち、持分法適用関連会社2社)
従業員数 連結8,768名 単体3,063名
(従業員数には契約社員、パート、アルバイトを含んでおります。)

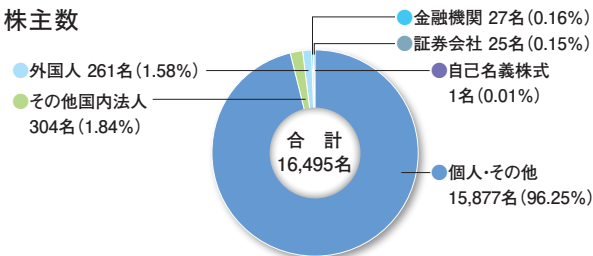
役員 (2025年6月27日現在)

代表取締役会長兼CEO	古世 憲二	常務執行役員	Kevin Richard Powers
代表取締役社長兼COO	木村 隆利	常務執行役員	揚田 利浩
取締役	宮地 正樹	常務執行役員	堀和 伸光
取締役	安藤 圭一(※1)	上席執行役員	石田 裕美
取締役	北山 久恵(※1)	上席執行役員	丹山 太
取締役	谷所 敬(※1)	上席執行役員	川上 修
常勤監査役	田中 浩司	上席執行役員	明坂 泰宏
常勤監査役	川崎 加寸也	上席執行役員	前田 隆雄
監査役	川崎 清隆(※2)	上席執行役員	熊倉 淳
監査役	山本 崇晶(※2)	執行役員	藤村 昌由
専務執行役員	永井 康詞	執行役員	中久保 克也
常務執行役員	中村 一智	執行役員	佐伯 充史
常務執行役員	西井 久雄	執行役員	吉村 信彦
常務執行役員	岡本 雅文	執行役員	上田 修
常務執行役員	佐藤 功		

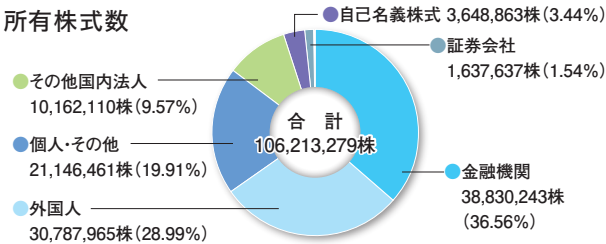
(※1)取締役のうち安藤圭一氏、北山久恵氏および谷所敬氏は社外取締役です。
(※2)監査役のうち川崎清隆氏および山本崇晶氏は社外監査役です。

株式の所有者別分布状況

株主数



所有株式数



株式の状況

発行可能株式総数 179,400,000株
発行済株式の総数 106,213,279株
株主数 16,495名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,608千株	11.32%
太陽生命保険株式会社	9,130	8.90
椿本チエイン持株共栄会	4,873	4.75
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	4,203	4.10
日本生命保険相互会社	4,137	4.03
椿本興業株式会社	3,476	3.39
株式会社三井住友銀行	3,000	2.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,170	2.12
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	1,696	1.65
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,568	1.53

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式3,648,863株を所有しておりますが、上記大株主には含めておりません。
3. 持株比率は、自己株式3,648,863株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間9:00~17:00(土・日・休日を除く) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	当社のホームページに掲載 (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載)

株主の皆様へのお知らせ

各種手続のお申出先

- ▶ 住所変更、配当金の受け取り方法のご指定、
単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

区分	お申出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)の株主さま	三井住友信託銀行株式会社 (上記、電話照会先をご参照ください。)

特別口座について

株券電子化の手続(証券会社の預け入れ)が済んでいない株式は、特別口座にて管理されています。特別口座は株式を売買するための取引口座ではありませんので、株式の売却の際は、あらかじめ証券会社の口座へ振り替えておく必要があります。詳細は、三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。

未払配当金の支払について

三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。

株主通信(事業のご報告)に関するお問い合わせ先

経営企画室 経営企画課

06-6734-6676

株式会社 椿本チエイン

<https://www.tsubakimoto.jp/>

椿本チエイン

検索

